

小野だより臨時号

平成26年3月
京都市立小野小学校
校長 竹原 篤

本年度も残すところわずかになってまいりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先月に行いました「学校評価のアンケート」の結果を報告させていただきます。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

後期「学校評価アンケート」について

本年度は、学校教育目標「自分を高め 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」のもと、「あいさつができる子」「物事に対して、粘り強く最後までやり遂げる子」の育成を中心に取組を進めてきました。

人間関係が希薄になりつつある只今です。人間関係を築いていくうえで、あいさつは欠かせないものです。挨拶をすることで互いに親近感を覚えたり、会話がスムーズになったりとすることもあります。進んで人とかかわろうとする態度や協調性をも育てる基本となるものです。こうした意味からも、誰に対しても、どんな時でも笑顔であいさつできる子どもを育てていきたいです。

子どもたちが育っていく中で、もう一つ大きな力があります。困難なことや難しいことに会ったとき、あきらめずに最後までやりきる力は、とても大切です。しかし、子どもたちと保護者・教職員ら大人とは少し意識の違いも見られるようです。毎日の学習・家庭での学習などに粘り強く取り組んでいるか、もう一度確認していきたいです。

裏面のグラフに結果を示しました。ただ、子ども・保護者・教職員の意識を比較する項目につきましては、比較しにくいものもあり、多少のずれがあるものもありますので、ご了承ください。

後期「学校評価アンケート」結果について

今回の回収率は、前回よりも伸び、84%となりました。お忙しい中にもかかわらず、ご協力いただきましたこと、感謝いたします。

今回の結果は、回答時の「よくあてはまる」「あてはまる」は「思う」、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」は「思わない」の2段階でまとめました。



I 学校生活全般

【学校生活】

- ① 多くの子ども達が授業に関しては分かりやすいと感じているようです。どの子どもも分かりやすい授業をする工夫は、今後もさらに研鑽していきたいです。
- ② 「先生に相談する」が前回よりも少し下がったようです。高学年になるにつれ、友達に相談する割合も高くなってきます。子ども達の何気ない言動にも目を配り、時には声をかけたりすることを大切にしていきたいです。
- ③ 多くの子どもたちは楽しく学校生活を送っているようです。保護者の方も学年・学級便りや懇談会で学校での様子を知っていただいているようです。

【基本的な生活習慣】

- ④ 前回と同様、子どもたちと教職員の間では大きなずれがあります。挨拶キャンペーンでは、どの子も意識して大きな声で挨拶が出来ていました。こちらが声をかけると多くの子どもか

ら挨拶が返ってきます。引き続き、根気良く取り組んでいきたいです。

- ⑤ 多くの子ども達は授業中では先生や友達の静かに話を聞けています。参観日などでもご覧頂いていると思います。しかし、学校生活のあらゆる場面で見ると、しっかりと理解をして聴いているかという点、まだ少し課題はあるようです。また、学年や学級を離れた時にきちんと聞けていない場面もあります。どんな時も最後までしっかり聞くことを大切にしていきたいです。
- ⑥ 学校でも教職員は様々な形で子ども達の「学習に取り組む意欲」を応援しています。しかし、宿題忘れも少なくありません。お子たちが宿題をされる時はテレビを消したり、周りのおもちゃを片づけたりなど、学習しやすい環境を作っていただくことも大きな効果があります。よろしくお願いいたします。
- ⑦ 子どもたちは課題に対して頑張っているようです。私たち大人は、子どものがんばりをきちんと認めたうえで励ましやアドバイスを送りたいものです。
- ⑧ 規則正しい生活を送ることは子ども達にとっては心身共に大切なことです。起床・就寝の時間、食事の時間、学習の時間、遊びの時間を決めることは大切です。親子で相談をしてゲームやテレビの時間をきちんと決めましょう。
- ⑨ 多くの子ども達は、おうちの方に何でも相談できると感じています。保護者の方が意識して子ども達と話をする時間を取っていただいている結果だと思います。学校でも子どもとコミュニケーションを取ることを大切にしていきます。
- ⑩ 子ども達が頑張った時にきちんと褒められ、認められることは大きな自信につながります。大人への信頼にもつながります。そのためには、普段から子どもをしっかり見ていること、心がけたいです。

【地域】

- ⑪ 家庭・地域・学校が連携して子どもたちを見守っていくことは大切です。互いに連携を図れるよう、教職員ともどもPTA・地域行事にさらに関心をもって参加し、人との結びつきや地域への愛着を育てていきたいです。

最近、心に残った場面がありました。1年生の子ども達が廊下を歩いていた時です。ちょうど来られた来校者の方に担任の先生が「おはようございます！」と元気に挨拶をされました。すると、1年生の子ども達も誰からともなく大きな声で「おはようございます！」と挨拶する声が返ってきました。来校者の方が笑顔で挨拶を返されたのはいうまでもありません。子ども達も笑顔で立ち去って行きました。もう一つは、図書室でのことです。図書支援員の方のおかげで図書室がずいぶん整備されました。また、PTAの方々の協力もあり、子ども達がおうちで眠っている本をもってきてくれ、本数が少しずつ増えてきました。途端に子ども達の図書室の使い方が丁寧になってきました。先日も低学年の子ども達が静かに読み聞かせに聞き入っていました。

どちらも大人の姿を見て、子ども達のために取り組んでいる姿を感じ取って、子どもたちが自然に取った行動だと思います。子どもたちは、私たち大人の行動をととてもよく見ています。そして、真似をします。しかし、私たち大人も忙しい毎日の中で、いつもいつも子どものお手本になる行動が取れないこともあります。でも、子どもに真剣にめき合っている姿は、子どもはきちんと知っています。

今回のアンケートの結果を参考にされ、今後の生活や学習などについて、ぜひ、ご家族で話合ってください。子ども達が頑張ったことをほめていただくだけでも結構です。どうぞよろしくお願いいたします。